

『ルベーク積分 要点と演習』 共立出版, 2018年9月20日 初版第1刷

正誤表 (2018年11月7日現在)

- p. 3 ↓ 6 algebra
- p. 3 ↑ 7 σ -algebra
- p. 9 ↑ 8 に注意すれば $\sigma[\mathcal{E}_2] = \sigma[\mathcal{E}_3]$ がわかり
- p. 26 ↑ 9 ただし, $\{E_j\}$ は互いに素, $\alpha_j > 0$.
- p. 36 ↓ 9,10 $1_{(x_{j-1}, x_j]}$ 2箇所. 細かいところだが, $x = a$ では $\bar{f}_n(a) = \underline{f}_n(a) = f(a)$ と定義する.
- p. 37 ↓ 11 注意 1.20. 有界区間上の有界可測関数は常に可積分... 文脈から分かると思うが念のため.
- p. 42 ↑ 3 $\int_{\mathbf{X}} \sum_{n=1}^{\infty}$
- p. 44 ↑ 6 条件 (iii) より右辺の... 押さえられ, 条件 (ii)
- p. 134 ↑ 13 (i) $\{\{-\infty\}, \bar{\mathbb{R}}\} \cup \{(a, b] : a, b \in \bar{\mathbb{R}}\}$
- p. 241 ↑ 10R σ -algebra
- p. 242 ↓ 2L algebra

間違いが多くて大変申し訳ありません. ご指摘を心から感謝いたします.

相川 弘明, 小林 政晴